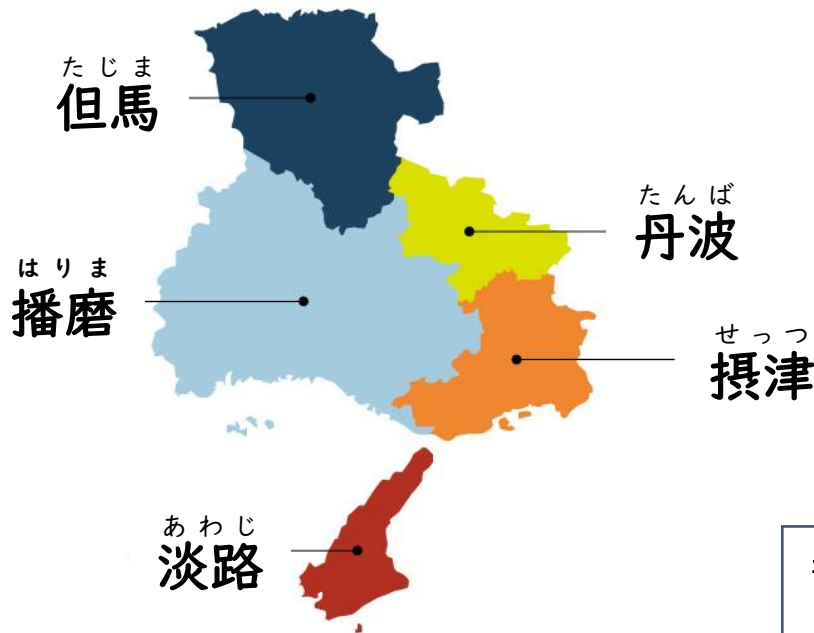


2階 常設展示「ひょうご五国のあゆみ」

()学校 名前()

ここでは、今の兵庫県のもとになった、摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の旧五国の古代から近世に至る歴史と、兵庫県が成立したのちの近現代のあゆみを紹介します。

クイズに答えて、めざせ“歴はく”マスター！



左が“五国”じゃ。
奈良時代におかれた
国の名前じゃが、
地方名として今も使
われているぞ。

初代 兵庫県知事
伊藤 博文



(1) 【木簡】とは、墨で文字を書いた木の板のことです。これらは遠くはなれた平城京跡(奈良県)から見つかりました。この木簡から、“ひょうご五国”をそれぞれ見つけよう！

① ② ③ ④ ⑤



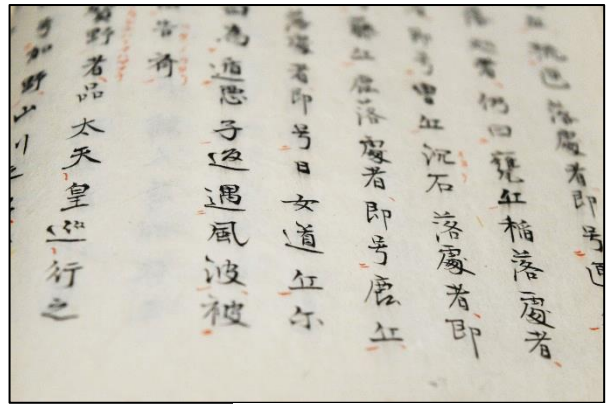
① ()
② ()
③ ()
④ ()
⑤ ()

※五国の名前は上の地図から選ぼう

(2)【ひめじの地名のはじまり】

この博物館がある「ひめじ(姫路)」の地名は、今からおよそ1300年前に書かれた文字の中に見つけることができます。そこで「ひめじ」はどんな漢字で書かれているのでしょうか？

- ①姫路 ②日女道 ③火目寺



播磨国風土記 江戸時代末～明治期(19世紀)



(3)【大名】

室町時代に将軍から国(地域)を守るように任された守護が、その国を自分の領地のように支配し、大名とよばれるようになりました。

ひょうご五国ではどの大名が治めたのか、線で結んでみましょう。(1つとは限りません)

摂津

播磨

但馬

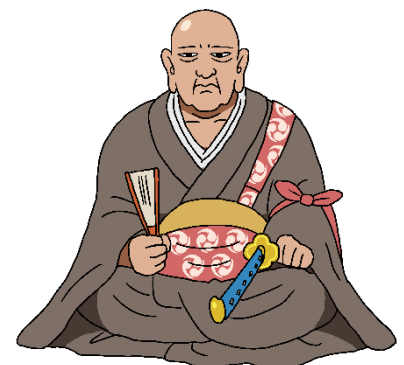
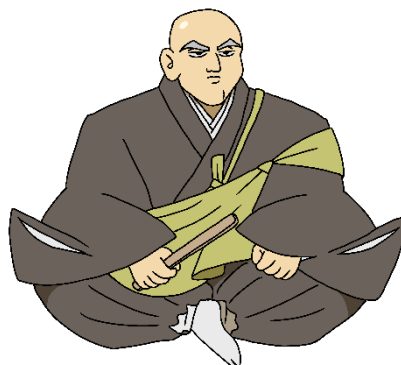
丹波

淡路

細川氏

山名氏

赤松氏



(4)【やきもののふるさと「丹波」】

兵庫県丹波篠山市は、丹波焼というやきものが有名です。この部屋に展示している2つの丹波焼をさがし、それぞれのちがいを観察して、書き出しましょう。

(例：使いみち、大きさ、色、かたち、もよう...)



たんばやきつぼ
丹波焼壺

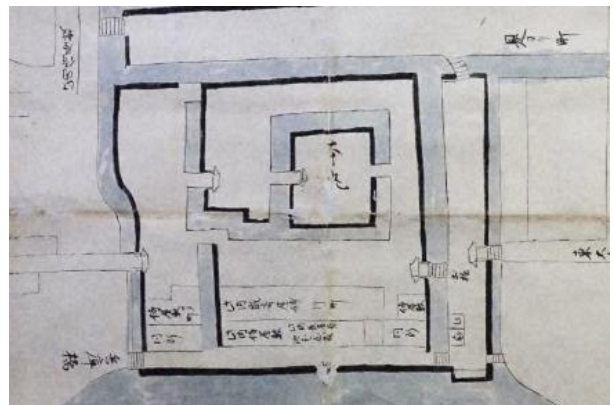


たんばやきくりかわゆう ほ ていはりつけもんとつくり
丹波焼栗皮釉布袋貼付文徳利



(5)【摂州尼ヶ崎城之図】

この資料は、堀と川にかこまれた尼崎城の様子を描いたものです。次のなかから、堀の中に「書かれていないもの」をえらびましょう。



- ① ほんまる ② 侍屋敷 ③ 化物屋敷

摂州尼崎城之図 江戸時代

(6) 近世^{きんせい}になると、いろいろな種類の船が運航^{うんこう}するようになります。下の写真の船の名前を書き、それぞれの特徴^{とくちょう}を見つけ、線で結びましょう。



たかせぶね
高瀬船



たるかいせん
樽廻船



きたまえぶね
北前船

ア 重い酒樽^{さかだる}を積むため、
船体^{せんたい}が深くなっている。

イ 日本各地の河川で
使用された川舟。

ウ 商品を売買しながら運行す
る買積み廻船^{かいづ かいせん}。

(7) 【養蚕秘録^{ようさんひろく}】

この絵には糸の材料を手に入れるために「あるもの」を育てているようすをえがいています。その「あるもの」とは何でしょうか？

- ①チリメンジャコ ②キンギョ ③カイコ



養蚕秘録 享和3年(1803年)上垣守国著

(8) 【兵庫神戸実測三千分箇之地図^{ひょうごこうべじっそくさんぜんふんかのちず}】達人問題

資料は、明治5(1872)年の神戸中心部の地図^{めいじ}です。港がひらかれたばかりの当時の神戸では、外国人居留地^{がいこくじんきよりうち}が決められていました。当時、外国人居留地はこの地図の何色の部分でしょうか？



兵庫神戸実測三千分箇之地図 明治5年(1872年)

- ①白い部分 ②青い部分 ③赤い部分

(9)【菊^{きく}の紋章】

資料は、明治の初め頃につくられたもので、県庁^{けんちょう}にかかげられていました。どこの県庁にかかげられていたものでしょうか。次の三つのなかからえらびましょう。

①岡山県

②兵庫県

③飾磨^{しかまけん}県



飾磨県庁菊紋 明治時代

(10)【側溝^{そっこう}のふた^{てつ}】

右の資料は、鉄でできた「あみのふた」です。雨水を流しながら、人や車が安全に通行できるようにしています。

この資料はある災害^{さいがい}により大きくゆがんでしまいました。その災害とは何でしょうか。次の三つのなかからえらびましょう。

①洪水

②地震

③火事



地震でゆがんだ側溝のふた 平成7年(1995年)
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター蔵

おつかれさまでした!

答えはこちらから♪

